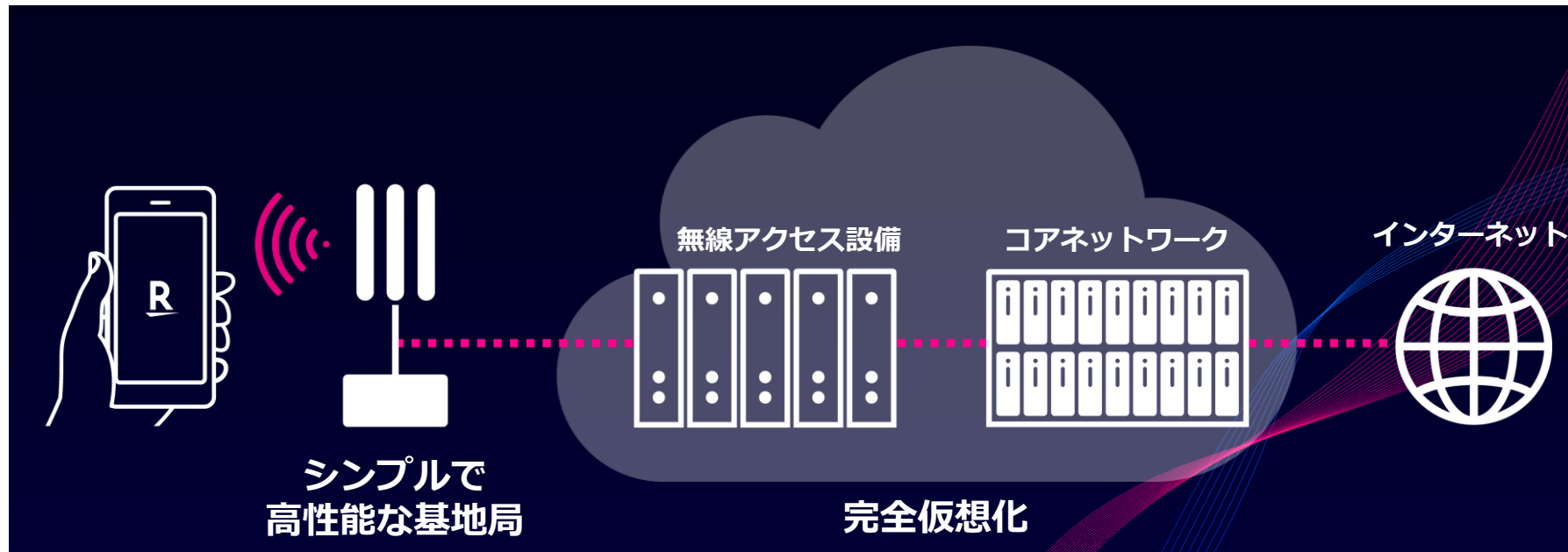


楽天モバイルが提供するネットワーク構成

世界初^{※1}の**完全仮想化クラウドネイティブモバイルネットワーク**

Open RANベースで**ベンダーロックイン^{※2}**からの解放、**大幅な開発運用コスト削減**を実現



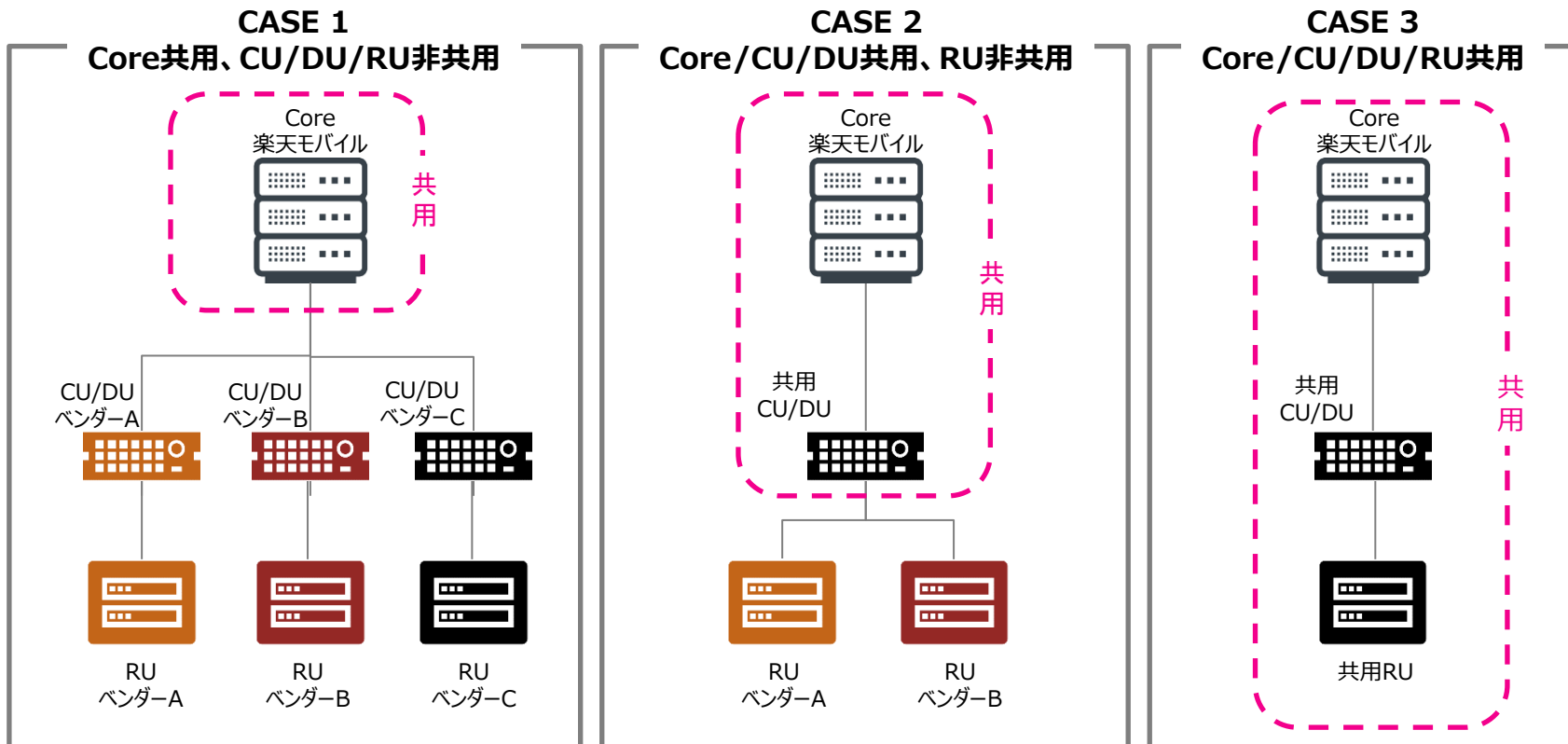
※1大規模商用モバイルネットワークとして（2019年10月1日時点）/ステアアソシエ調べ

- ソフトウェアの完全仮想化により、相互接続試験に係る工数および開発コストを削減
- 従来と比較し、モバイル事業全般のCAPEX約40%、OPEXの約30%の削減効果
- より低価格な料金でサービス提供可能

※2 ベンダーの特定ハードウェア/ソフトウェアに依存した装置

Open RANと完全仮想化の柔軟性

Open RANと完全仮想化による柔軟性を活かしたCoreと無線装置の構成
複数ベンダーの共用、共用化した無線装置など多様な接続形態を実現可能



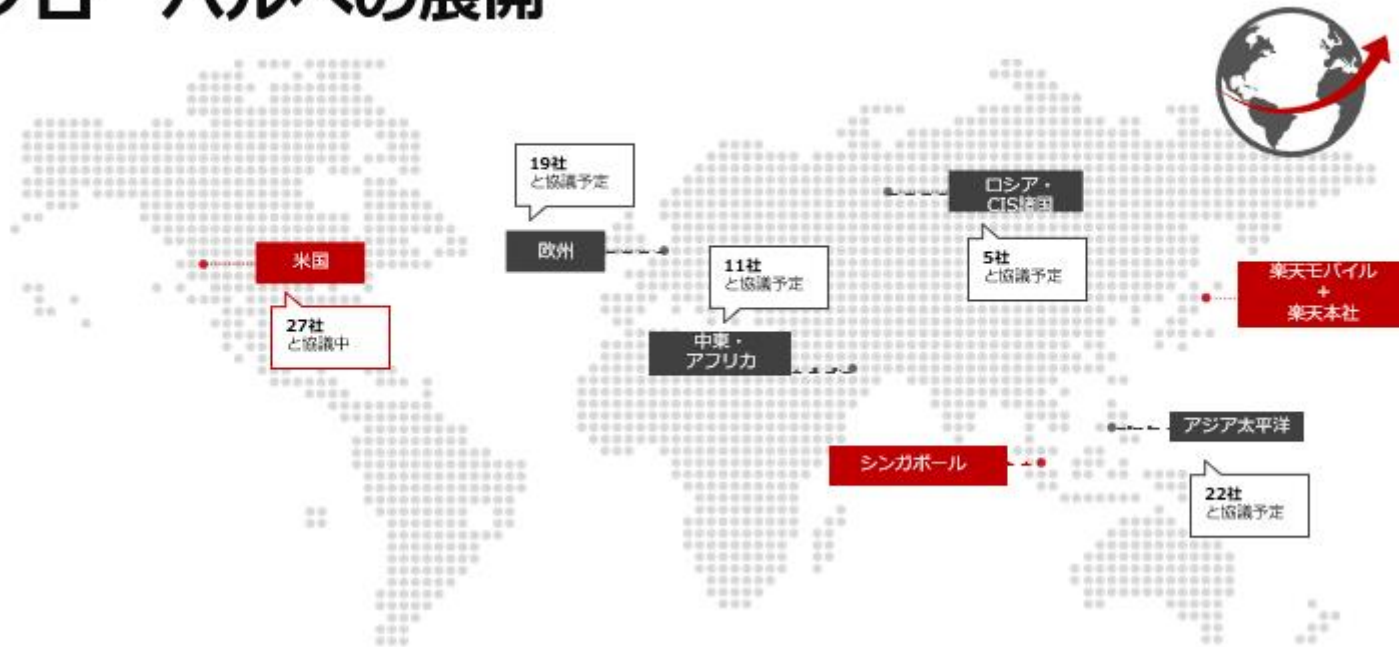
- 当社コアネットワークと他ベンダーCU/DU/RUの接続 (CASE 1)
- CU/DUを共通化し、他ベンダーRUとの接続 (CASE 2)
- 複数事業者間でのCore/CU/DU/RU共用を想定した共用CU/DU/RUでの接続 (CASE 3)

※CASE1は実証済み、その他は実現に向けて検討中

楽天の通信ソリューションのユーザー像・ユーザー数

Open RANと完全仮想化による拡張性を活かした海外展開

グローバルへの展開



楽天の通信ソリューション（Open RAN含むEnd to Endシステム）グローバル展開状況

- 世界各国の通信事業者や異業種事業者、政府等の中で、実際の適用を検討中（北米、アジア、欧州、中東など）
- 複数のテック企業などとのパートナーシップの申し入れについても検討中
- 複数社とMOU（覚書）やパートナー契約を締結済み、ドイツ1&1社とは事業化契約締結済み